

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35 (13)	火災や自然災害発生時の対応について、ミーティング等で確認しているが職員間で認識にバラツキが見られる。今年度の災害時避難訓練も2回の予定が1回の実施となり、全員が迅速に判断し、行動に移せるまでには至っていない。	災害時の避難行動や判断基準について、職員全員が正しく理解し、利用者の安全確保の為の行動が取れる。	<ul style="list-style-type: none"> 毎月1回の職員ミーティングでの指差し確認実施 避難訓練への職員全員参加の徹底。 火災消火訓練の他災害時避難訓練を計4回実施 事業所勉強会で様々な自然災害をイメージして机上訓練を実施。避難行動の習得に繋げる。 	12ヶ月
2	49 (18)	長引くコロナ禍の為、ホームの外出行事やご家族との外食、外泊の機会が減少している。独歩での歩行が困難な方も多く、散歩や外気浴を希望されている方の支援が充分になされていない為、入居者様達の下肢筋力低下も懸念される。	ひとり一人の利用者を主体に考え、他者との交流の機会や戸外活動を計画的に実施。心身機能の活性化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 毎月1回利用者の現状を再アセスメントし心身の状態についてモニタリングを実施していく。 ひとり一人のニーズに見合った暮らしが実践出来る様その日のチームで申し送り時に確認し合う。 大きな催事の他、毎月1回は戸外活動や行事が楽しめるように年間行事予定で予め計画立てる。 	6ヶ月
3	45 (17)	年齢を重ねた事で、これまで楽しみにしていた入浴が面倒になり、職員の声掛けを断る利用者が増えてきた。「お風呂に入りたい」「楽しい時間」と思えるような心が動く工夫が不足している。	入浴に変化や工夫を施す事で、職員や利用者同士のコミュニケーションツールとなり、日常生活の中でお風呂に入る時間が楽しみの一つとなる。	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の入浴に対する思いや希望、思い出話し等を伺い、職員間で共有する。 入浴剤等を活用して日本古来からの”季節湯”や”変わり風呂”を年間で実施。話題作りや興味が持てる様に掲示板等を作成し環境を整備する 	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。